

令和6年10月7日
中部地方整備局名古屋港湾事務所
名古屋港管理組合

名古屋港における将来の航路体系あり方検討会の実施について

名古屋港が、将来にわたって使いやすく利用者から選択され続ける港として持続的に発展するため、船舶の大型化をはじめとする港を取り巻く情勢や利用者ニーズを踏まえ、船舶通航の安全性を確保しつつ利便性の向上を図る必要があります。

そのため、有識者等とともに航路の改善方策を検討し、将来の航路体系のあり方を取りまとめることを目的として、「名古屋港における将来の航路体系あり方検討会」を設置することとなりましたので、お知らせいたします。

本検討会は、令和6年度から令和7年度にかけて開催する予定であり、第1回検討会を下記のとおり開催します。

記

1. 日時： 令和6年10月11日（金） 14:00～16:00
2. 場所： 名古屋港湾会館3階第2会議室
3. 構成員： 別紙①「構成員」参照
4. 議事： 名古屋港の航路の現状について
5. 配布先： 中部地方整備局記者クラブ、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、
港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス、
マリタイムデーリーニュース
6. 取材： 会議は非公開としますが、報道関係者のみ冒頭挨拶（議事開始前）まで
傍聴及び撮影が可能です。
取材を希望される場合は、別紙②「取材登録」をご参照いただき
10月10日（木）12:00までにメールにてお申し込みください。
会場での取材を申し込まれた方は、当日13:50までにお越しく下さい。
検討会で取りまとめた結果については、改めて公表する予定です。
7. 問合せ先： 国土交通省中部地方整備局名古屋港湾事務所 企画調整課
西尾（にしお）、鈴木（すずき） TEL 052-651-6763
メールアドレス：pa.cbr-info@mlit.go.jp
名古屋港管理組合 企画調整室 計画担当
鈴木（すずき）、徳田（とくだ） TEL 052-654-7911
メールアドレス：keikaku@union.nagoyako.lg.jp

「名古屋港における将来の航路体系あり方検討会」構成員(案)

【委員】

(順不同・敬称略)

	氏名	所属等
学識者	瀬田 広明	東海大学 海洋学部 教授
	山田 多津人	海上保安大学校 海事工学講座 教授
	内田 俊宏	中京大学 経済学部 客員教授
	北野 利一	名古屋工業 大学社会工学専攻 教授
	富田 孝史	名古屋大学 減災連携研究センター 副センター長 教授
経済団体	白木 隆光	名古屋商工会議所 企画部長
	伊勢木 俊勲	一般社団法人 中部経済連合会 産業基盤強化推進部長
港湾関係団体	中塚 勝弘	名古屋港運協会 常務理事
	間瀬 雅浩	伊勢三河湾水先区水先人会 副会長
	今井 雅士	名古屋海運協会 港務委員長
	山口 淳	名古屋日本船代理店会 会長
	高橋 道男	全国内航タンカー海運組合東海支部 事務局長
	吉村 剛	中部沿海海運組合 専務理事
	西村 聡博	東海内航海運組合 専務理事
	菊川 幸信	東海北陸旅客船協会 事務局長
	鈴木 朋幸	公益社団法人 伊勢湾海難防止協会 専務理事
関係行政機関	山本 一	第四管区海上保安本部 交通部長
	千田 亨	名古屋海上保安部 部長／港長
	三島 理	国土交通省中部地方整備局 港湾空港部長
	辻 誠治	国土交通省中部地方整備局 名古屋港湾事務所長
	桑山 幹根	名古屋港管理組合 企画調整室長

【事務局】

国土交通省中部地方整備局 名古屋港湾事務所企画調整課

名古屋港管理組合 企画調整室計画担当

メール送信先：keikaku@union.nagoyako.lg.jp
名古屋港管理組合 企画調整室 計画担当 宛

取材登録

(第1回名古屋港における将来の航路体系あり方検討会)

※取材をご希望の場合は、以下の記載事項を電子メールにて送付
いただくようお願いいたします。

【記載事項】

1. 報道機関名
2. 取材者（複数名の場合は代表者）
 - ①御氏名
 - ②御役職
3. 連絡先
 - ①電話番号
 - ②当日に連絡可能な携帯電話番号（3. ①と同じ場合は不要）

申込締切り：令和6年10月10日（木）12：00 必着